

## サマーイングリッシュキャンプ 田村に世界がやってきた



7月29～31日、「サマーイングリッシュキャンプ」がスカイパレスときわで行われ、市内の中学生23人が参加しました。

市内のALTと早稲田大学国際教養学部のサークル「セカクル」を講師に迎え、「色とりどりの個性（カラフルアイデンティティー）」をテーマに、自分の個性に対する自信を高めるためのさまざまなプログラムを行いました。

参加した中学生は、英語を使って交流を深めながら、英会話や自己表現に対して自信が高められたようです。

## ふるさと常葉会 総会でふるさとを懐かしむ



7月8日、「第32回ふるさと常葉会総会」が東海大学校友会館（東京都）で開かれ、会員や来賓、市関係者など約80人が出席しました。

総会終了後の懇親会では、ふるさと産品が当たる抽選会や常葉町の歌「思い出の常葉なつかし」の合唱、参加者全員による常葉盆踊りなどが行われ、参加者は大いに盛り上がりました。

## 船引公民館事業 白河の歴史・文化に触れる



7月10日、船引公民館事業「歴史・文化財巡り」が行われ、28人が白河市を訪れました。

白河市歴史民俗資料館では、白河地方の原始・古代から近代までの展示物を見学。戊辰戦争の激戦地である松並、稻荷山（公園）を散策しました。小峰城・集古苑では展示品やビデオを観賞しました。

参加者からは、「白河の歴史・文化に触れて、学ぶことの大切さを知ることができた」といった感想が聞かれました。

## 「木質バイオマス発電事業地域協議会」準備会が発足



8月8日、大越行政局で「木質バイオマス発電事業地域協議会」準備会が発足しました。

現在、大越町の田村市産業団地に木質バイオマス発電所の建設が進められています。事業者は、周辺地域の方から発電事業に対する意見を伺うため地域協議会を設置することとしています。

準備会では、地域協議会の円滑な設置を目的として、市と地元行政区長が中心となり、組織の構成と発電事業の安全安心確保対策、排熱利用による地域振興策について、具体化を図っていきます。

## 放課後児童クラブ 各小学校の子どもたちが交流

7月26日、「第13回田村市放課後児童クラブ交流会」が常葉体育館で開かれ、都路・船引・大越・滝根・常葉の放課後児童クラブの児童167人が一堂に集いました。

各クラブ混合のチームでミニ運動会を行ったり、劇団「赤いトマト」による人形劇を鑑賞したりして、楽しく交流を深めました。



## 都路チャレンジ教室&常葉アソベンチャークラブ 合同で楽しい思い出

8月2日、いわき市で「都路チャレンジ教室」と「常葉アソベンチャークラブ」が合同で行われ、小学生41人が参加しました。

午前中はいわき海浜自然の家で木工クラフト作り、午後は海の生き物を探しに舟戸海岸を訪れました。参加した子どもたちは、カニやイソギンチャクを見つけては大声で伝え合うなどして、楽しい夏休みの思い出を作りました。



## 大越町更生保護女性会 ボランティアで大越駅をきれいに

8月5日、田村市大越町更生保護女性会（白石幸子会長）は、「社会を明るくする運動」の一環として、大越駅構内の草刈り・花壇の草取りを行いました。強い日差しが照りつける中でしたが、てきぱきと作業を進め、見違えるようにきれいに整備されました。

白石会長は「大越を訪れた人にとって、この駅は大越の玄関のようなもの。皆さんが気持ちよく利用できるよう、今後もこの活動は続けていきたい」と語りました。



## バレーボール教室 エアリービーズの指導を間近で

8月16日、デンソーエアリービーズの協力でバレーボール教室が市総合体育館で行われ、小・中学生約90人が参加しました。

参加した子どもたちは、あこがれのプロ選手たちから基礎指導を直接、間近で受けることができ、目を輝かせながら練習に励みました。

